

書香

2001. 10. 31

No. 38

- ◎ 辻 邦 生 氏の遺したもの
(理学部教授 鈴木 邦雄) 1

◎ **諸 報**

- 石田瑞麿氏蔵書の寄贈の案内 2

◎ **ニュース**

- 中学生が図書館業務を体験 3

◎ **案 内**

- 本学教官執筆図書案内 4
○ 無線LANサービス案内 5
○ 附属図書館統計 8
○ 図書館関係会議 10
○ 平成13年度附属図書館運営委員会委員名簿
(平成13年9月現在) 10

辻 邦生氏の遺したもの

理学部教授 ^{すず}鈴木 ^き邦 ^{くに}雄

辻邦生氏が逝って二度目の夏も過ぎようとしている。氏の作品に二十年以上親しんできたから、その突然の訃報には衝撃を受けた。この二年間に佐保子夫人による「あとがき」の添えられたエッセイ集が四冊(『のちの思いに』日経新聞、『辻邦生が見た20世紀末』信濃毎日新聞、『微光の道』『海峡の霧』新潮)、講演集(『言葉の箱』メタログ)と未完の評論(『薔薇の沈黙 リルケ論の試み』筑摩)が各一冊の計六冊が上梓された。人はさまざまなものを人生の伴侶とする。辻氏が遺された膨大な作品群は、私にとってそうしたかけがえのないものである。氏の八八年迄の全著作は、木村潔編『辻邦生書誌年譜』(湯川書房)に詳しい。二種の個人全集(『辻邦生作品全六巻』河出書房新社、『辻邦生歴史小説集成全十二巻』岩波)の他、日記(『パリの手記全五巻』河出文庫、『モンマルトル日記』集英社文庫、『夏の光満ちて』など三冊／中央公論)、紀行(『詩への旅 詩からの旅』『時の終わりへの旅』筑摩)、夥しい数のエッ

セイ集(『海辺の墓地から』など五冊、『永遠の書架に立ちて』など四冊／新潮、『風雅集』世界文化社など)、評伝(『トーマス・マン』岩波)、芸術論集『橄欖の小枝』(中央公論)や『私の映画手帖』(文藝春秋)、童話(『ユリアと魔法の都』筑摩)、戯曲(『ポセイドン仮面祭』新潮)など、氏の執筆活動は極めて広範囲に及んでいる。

辻文学からはさまざまなことを学んだが、私にとって何よりも大切に思われるのは、どんな時もこの人生を愛し精一杯生きるという姿勢だ。『回廊にて』(近代文学賞)と『北の岬』(新潮文庫)に最初に出会ったためか、初期作品群への愛着が深い。辻氏は、最初の長篇『回廊にて』執筆迄の約十五年間、小説を書く根拠を求めて長く苦悩されたようだ(『小説への序章』中公文庫)。

八年前ハーヴァード大に留学中、徒歩十分ほどの閑静な住宅街の古い家に下宿していた。厳冬の二月、寒々とした二階の部屋の、寝返りを打つ度に軋む音の響く木製ベッドに横たわりながら、毎

晩『夏の砦』(新潮文庫／文春文庫)を読み耽った。読了した途端に読み返したくなり、滞在中だけで三度通読した。同様の経験と思いを井上明久氏も書いている(文春文庫解説)。井上氏が引いている森有正氏の言葉のように、「この小説にはいつも夏が燃えている」。竹西寛子氏をして「女の意識の領域に、日本の男の作家にここまで立ち入れただか」と嘆息させた作品である(新潮文庫解説)。主人公支倉冬子には、その後も時々会いたくなつて読み返す。冬子の親友エリスや『回廊にて』のマーシャとアンドレ、『北の岬』のマリ・テレーズなど、辻作品には忘れ難い女性が多く登場する。義父の遺した蔵書中の『安土往還記』(芸術選奨新人賞)『天草の雅歌』(新潮文庫)『嵯峨野明月記』(中公文庫)などを読んだのはその後だった。信長の時代を扱ったこれら三部作は、いずれも初期の長篇の傑作だと思う。中でも『天草の雅歌』は数年に一度は読み返さずにはいられない。長崎奉行所通辞上田与志とマカオとの交易商人とポルトガル人の混血コルネリアとの恋は、作者自身の深い共感に裏打ちされているからだだろう、読後いつまでも懐かしく切ない憧憬に似た思いが去らない。短編にも佳篇が多い(『見知らぬ町にて』『サ

ラマンカの手帖から』新潮文庫、『辻邦生全短篇1,2』『霧の聖マリ』『夏の海の色』『雪崩のくる日』『人形クリニック』『国境の白い山』『椎の木のほとり』『神々の愛でし海』中公文庫)。

長時間持続して読書できる物理的・精神的状態を確保し難いため、重要な長篇中『背教者ユリアヌス』(毎日芸術賞／中公文庫)も『フーシェ革命歴』(文藝春秋)も未読だし、ボッティチェリの生涯を描いた『春の戴冠』(新潮社)も下巻途中迄で三度も頓挫した。読み進むうちについ懐かしい女性たちの住む初期の作品群の方に気持ちが向かってしまうためかもしれない。氏は、最晩年の大作『西行花伝』(谷崎潤一郎賞／新潮文庫)の後、在原業平を主人公とする『浮舟』なる長篇を構想しておられたようだが、ファンの手にはついに届けられなかった。最近の学生諸君に『夏の砦』のような世界は無縁だろうか。遺著『辻邦生が見た20世紀末』に見られるように、氏が時事的諸問題にも日常的に深い関心を抱き、一貫して平和憲法擁護の側に立って積極的な発言をしておられたことも忘れてはなるまいと思っている。

(註：文中、文庫版のあるものはそれを記したが、絶版書も多い)

諸 報

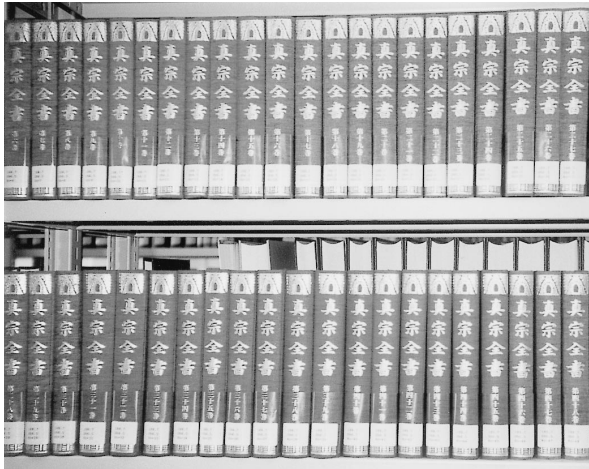
石田瑞磨氏蔵書の寄贈の案内

このたび、石田家のご厚意により、石田瑞磨氏の蔵書723冊を本学附属図書館に寄贈いただきました。

石田瑞磨(いしだ・みずまろ)氏は、1917年(大正6年)北海道のお生まれで旧制富山高等学校卒業後、東京帝国大学文学部印度哲学梵文学科に進み、後に東京大学講師を経て、昭和42年に東海大学教授となり、平成11年に死歿される。石田氏は、日本仏教史・日本仏教学の研究家としての業績も高く、執筆書には『日本古典文学と仏教』筑摩書房 1988 を初め、数多くあります。

本蔵書は、石田瑞磨氏が研究書として収集した

古代・中世史関係の専門書である。蔵書には、貴重な全集・叢書が多く、本学附属図書館に未所蔵の図書、また欠落図書等で、既に絶版等で入手不可能なものも多く含まれている。特に、わが国の独創的な大蔵經の集大成で、仏教の基本的叢書である『大正新脩大蔵經』(全85巻、索引45巻)大正新脩大蔵經刊行会 1924-、真宗関係資料を集大成した一大叢書『真宗全書』(全75巻総目録)国書刊行会 1974-1977、平安時代から鎌倉時代の貴族の日記を集めた叢書『増補』史料大成』(全45巻、別巻3巻)臨川書店 1965、平安時代の社会・経済・政治・法制・芸術などに関するあらゆる文



寄贈された蔵書

書を集成した『平安遺文』（古文書編11巻，金石編1巻，索引編1巻）東京堂 1947-1980，日本の封建制や領主制の研究に欠くことのできない史料『鎌倉遺文』（全42巻，索引4巻）東京堂 1979-

1997など，日本古代・中世の宗教，文学，歴史，美術に関する貴重な研究書である。また，人物叢書として，『講座道元』（全7巻）春秋社 1979-1981，『弘法大師全集』（首巻，全5輯）吉川弘文館1923，『聖徳太子全集』（全5巻）龍吟社 1942-1944，『親鸞全集』（全5巻）法蔵館 1982-1984などがある。

その他に美術全集，辞典，目録，索引や巻物等幅広い分野の蔵書です。

本学では，これまでも日本の古代・中世史の関係史料を収集してきており，既に一部所蔵しているものもあるが，本蔵書はいずれも人文社会科学の研究に必要不可欠な資料であり，一層の活用が期待される。

寄贈にあたりご御苦労いただきました石田 戡氏に，謝意を申し上げます。

ニュース

中学生が図書館業務を体験

—社会に学ぶ「14歳の挑戦」で，図書館業務を体験—

去る，平成13年7月9日（月）～13日（金）の5日間，本学図書館において，富山県教育委員会が実施する「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業の趣旨に基づき，市内の中学生へ職場体験指導ボランティアを実施しました。今年で3回目になるこの事業には，今年度も富山市立西部中学校から依頼があり，男子生徒4名が図書館業務の体験を行いました。

実施に際し，はじめに小谷図書館長から，図書館の仕事は外部から見てもなかなかかわからないことが多いので，実務を体験しながら図書館業務の重要さを理解してもらえようがんばってほしいとの挨拶があり，引き続き，館内見学やヘルン文庫などの貴重資料の説明がありました。

2日目以降は，オンラインによる国内外の図書

館の蔵書を検索したり，図書等をデータベースへ登録したり，新刊図書へのラベル貼りや配架等，利用者に対するサービス業務を体験しました。

パソコンで他大学の図書館と図書資料に関する情報のやり取りを行っていることや，図書の受入れ・配架など，初めての体験にとまどいながらも一生懸命に取り組む姿が印象的でした。



データ入力を教わる中学生

本学教官執筆図書案内

附属図書館では、本学教官が執筆した図書を積極的に収集しています。それらの図書は本館2階の専用コーナーに配架され、学生の皆さん等によって、有効に利用されています。新たに本を出版される際には、是非、図書館に2部ご恵贈くださるようお願いいたします。

ご寄贈いただいた図書は、『書香』及び附属図書館ホームページで紹介します。今回は平成13年2月以降の受入分です。

■ 哲学

主要5因子性格検査ハンドブック：性格測定の基礎から主要5因子の世界へ / 村上宣寛（教育学部）ほか著
学芸図書 2001（141.93/M94/Sh）

■ 歴史

回想佐々木浩先生 / 佐々木浩先生追悼の会 代表 竹浪聰（教育学部国語科研究室内）
佐々木浩先生追悼の会 2001（289.1/Sa7/Kai）

■ 社会科学

教育方法学 / 宮崎州弘（教育学部）ほか編著
めいけい出版 1981（371.16/K13/Ky）

個性を生かす支援ツール：知的障害のバリアフリーへの挑戦 / 富山大学教育学部附属養護学校著
武蔵博文，小林真（教育学部）編
明治図書 2001（378.6/T66/Ko）

■ 自然科学

Toroidal groups : line bundles, cohomology and quasi-Abelian varieties/Yukitaka Abe(阿部幸隆)
(理学部) et al.
Springer 2001（410.8/L49/1759）

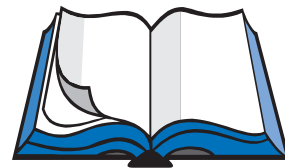
Proceedings of the Japan-France seminar on magnetic, electric and thermal properties of rare earth compounds, 13-15 March 1996 Toyama, Japan/edited by Y. Isikawa(石川義和), J. Sakurai
(櫻井醇児) (理学部) et al.
The Physical Society of Japan 1996（436.3/Is3.9/Ma）

■ 芸術

アウトドア道具考：バックパッキングの世界 / 村上宣寛（教育学部）著
春秋社 2001（786/M94/Ou）

■ 言語

みんなの日本語教室 / 加藤重広（人文学部）著
三笠書房 2001（815/K16/Mi）



無線 LAN サービス開始のお知らせ

附属図書館本館では、平成13年4月より無線 LAN サービスを開始しました。ここにその概要を紹介します。

これまで本館では、学内 LAN に接続した利用者用端末32台と、接続コードにより利用者所有のパソコンを使用できるシステム（DHCP）がありましたが、この無線 LAN サービスにより、より一層の情報化への環境整備が推進されたことになります。

＜無線 LAN とは＞

無線 LAN とはその名のとおりに、ケーブルを使わず電波で通信を行うネットワーク接続のことです。従来のケーブルを使った LAN に比べて配線の手間が少なく、端末の移設や増設が容易で、何よりひとつの場所にとどまらず電波の届く範囲ならどこでも使えるという利点から有線による LAN にかわるものとして注目を集めています。通信速度が向上したこともあり、急速に広まりつつあります。

＜図書館での利用＞

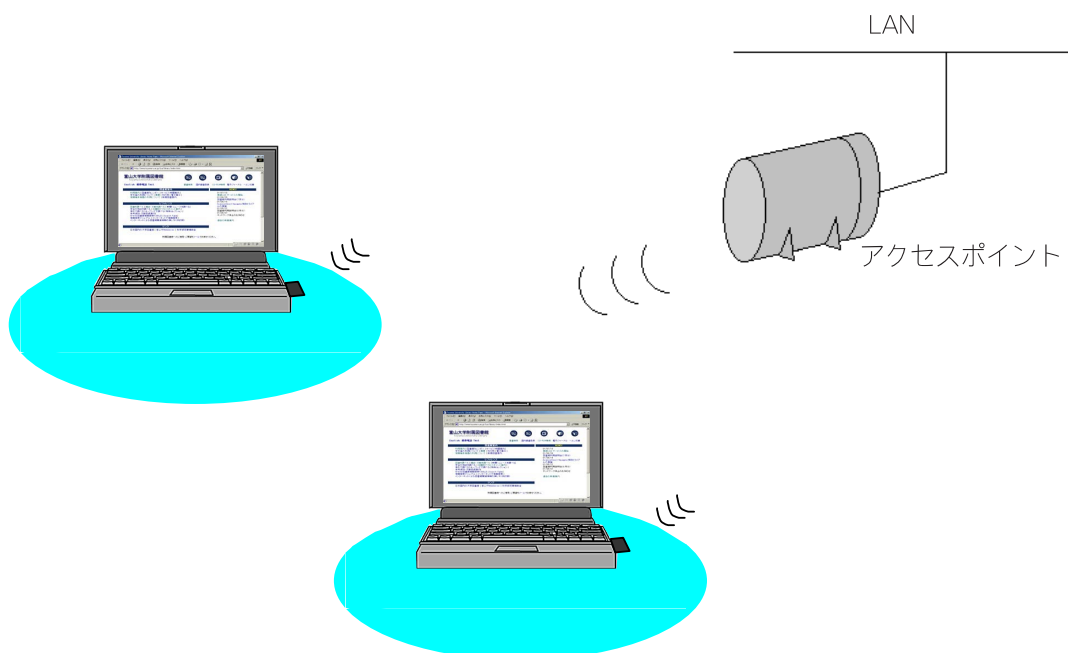
利用者が所有するパソコンを持参して利用します。

無線 LAN は館内の見通しの良い場所に設置したアクセスポイントと、パソコンに取り付けた無線 LAN カードとの間で通信を行います。図書館では計10ヵ所にアクセスポイントを設置し、全ての階の閲覧室でネットワーク接続ができるようになっています。

無線 LAN カードは学生証や図書館利用証と引き換えにカウンターで貸出を行っています。最初に利用するときにはパソコンの設定を行う必要がありますが、一度設定が済めば2回目からは無線 LAN カードをパソコンに差し込んですぐに使うことができます。

無線 LAN 利用についての詳しい内容は P7 のとおりです。図書館のホームページにも載せていますので、まず対応機種等を確認してから利用するようにしてください。

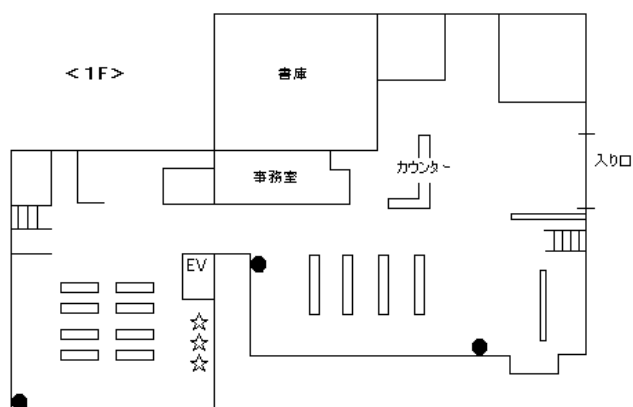
なお、自分のノートパソコンからネットワークに接続するための手段としては、無線 LAN の他に DHCP 接続サービスがあります。ただし、ケーブルで情報コンセントに接続するため場所が限られるのと、LAN カードを各自で用意してもらう必要があります。



インターネットは今や重要な情報源の一つとなっています。今度無線 LAN を導入したことによって今までよりもパソコンの持ち込みがしやすくなり、より一層インターネットが身近になると思います。図書や雑誌とともに、十分に活用してください。

ネットワークを利用する際には「インターネット利用ガイド（富山大学情報基盤専門委員会作成）」をよく読んで、マナーや規則を守ってください。またコンピュータウィルスの被害にあうことのないよう、ファイルの扱い等にも充分注意してください。

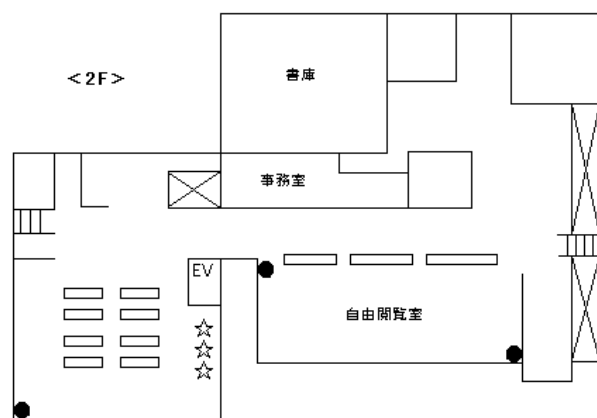
アクセスポイント・情報コンセント配置図



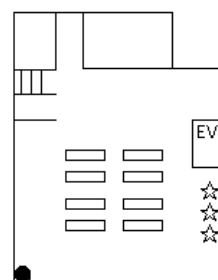
● アクセスポイント

☆ DHCP 接続用情報コンセント

※無線 LAN が使えるのは本館だけです。工学専門図書室には新たに DHCP 用の情報コンセントを設けましたのでそちらをご利用ください。



<3F~6F>



注：3Fの情報コンセントは2ヶ所です。

富山大学附属図書館の蔵書検索(OPAC)、新着図書案内は携帯電話からもアクセスできます。

- i モード (<http://www.lib.toyama-u.ac.jp/i/>)
- J-SKYWEB (<http://www.lib.toyama-u.ac.jp/j/>)
- EZweb (<http://www.lib.toyama-u.ac.jp/ej/>)

無線 LAN の利用について

1 利用できるノート型パソコン及び対応できる OS

利用できるノート型パソコン	必要とする装備	備 考
DOS/Vパソコン(富士通, 日立, IBM, 三菱, SONY等)	PCカードスロット(TYPE II) 及び フロッピーディスクドライブ	
PC98 (PC-9821) シリーズ (NEC等)	同 上	NEC製 PC-9821Ne 及 び EPSON 製 98 互換機は, 利用できません

対応できる OS	備 考
Windows 95	設定の途中でノート型パソコンに添付された OS 用の CD-ROM が必要となることがあります。その場合には、各自で準備してください。
Windows 98	同 上
Windows NT 4.0	同 上
Windows 2000	
Windows Me	

【注】Macintosh 及び上記 Windows 以外は, 利用できません。

2 無線 LAN カード及び接続・設定マニュアルの貸出し

- ・「学生証」又は「附属図書館利用証」と引き換えに貸出します。利用終了後又は、退館するときには必ず返却してください。

3 設定作業

- ・無線 LAN を使用するためには、最初にドライバソフトをインストールする必要があります。そのためのフロッピーディスク及び接続・設定マニュアルを受付カウンターで貸出します。各マニュアルに従って各自で設定してください。なお、一度設定すれば次回以降、設定の必要はありません。

4 利用方法・利用場所

- ・貸出しを受けた無線 LAN カードをノート型パソコンに差し込み、インストールされたソフトを開き、各階のアクセスポイント（エーステーション）を指定して利用します。詳しくは、マニュアルをご覧ください。

5 その他

- ・持参したノート型パソコンの動作確認等については、各自の責任で対応してください。
- ・附属図書館内での無線 LAN 利用に際し、館内のプリンターは使用できません。

<http://www.lib.toyama-u.ac.jp/tya/library/musenlan.html>

＝ 附属図書館統計（平成10年度～平成12年度） ＝

区 分		平 成 10 年 度	平 成 11 年 度	平 成 12 年 度
蔵 書	和	609,180 冊	623,678 冊	637,484 冊
	洋	284,536 冊	290,040 冊	295,830 冊
	計	893,716 冊	913,718 冊	933,314 冊
所 蔵 雑 誌 種 類 数	和	10,649 種	11,084 種	11,113 種
	洋	5,326 種	4,826 種	4,861 種
	計	15,975 種	15,910 種	15,974 種
年 間 受 入 数	和	12,172 冊	14,498 冊	13,806 冊
	洋	6,075 冊	5,504 冊	5,790 冊
	計	18,247 冊	20,002 冊	19,596 冊
年 間 受 入 雑 誌 種 類 数	和	5,298 種	5,448 種	5,429 種
	洋	1,702 種	1,680 種	1,644 種
	計	7,000 種	7,128 種	7,073 種
年 間 製 本 冊 数 及 び 金 額	冊 数	4,229 冊	4,582 冊	3,812 冊
	金 額	7,145,374 円	7,686,814 円	6,457,225 円
サ ー ビ ス 対 象 者 数	学 生	7,360 人	7,356 人	7,299 人
	教 職 員	1,099 人	1,076 人	1,145 人
	学 外 者	85 人	100 人	177 人
年 間 入 館 者 数 ／ 開 館 日 数	本 館	193,999 人 ／ 304 日	218,081 人 ／ 304 日	235,785 人 ／ 304 日
	工学専門 図 書 室	104,463 人 ／ 302 日	98,869 人 ／ 304 日	94,282 人 ／ 304 日
	合計人数	298,462 人	316,950 人	330,067 人

区 分			平 成 10 年 度	平 成 11 年 度	平 成 12 年 度
年間館外貸出人数／冊数 （本 館）	学 生		19,463人/37,746冊	18,292人/34,486冊	18,778人/34,092冊
	教 職 員		2,740人/14,902冊	2,613人/17,511冊	2,514人/14,457冊
年間館外貸出人数／冊数 （工 学 専 門 図 書 室）	学 生		6,536人／11,526冊	5,436人／9,421冊	4,402人／7,404冊
	教 職 員		702 人／1,598冊	479人／1,121冊	411人／964冊
参 考 業 務 利 用 件 数 （利 用 者 別）	学 生		4,290 件	7,443 件	6,766 件
	教 職 員		3,892 件	2,410 件	1,775 件
	学 外 者		3,044 件	1,492 件	1,389 件
参 考 業 務 利 用 件 数 （業 務 内 容 別）	文 献 所 在 調 査		6,592 件	3,744 件	3,277 件
	事 項 調 査		1,068 件	227 件	199 件
	利 用 指 導		3,566 件	7,374 件	6,454 件
相 互 貸 借 現 物 相 互 貸 借	貸	国 内	675 冊	613 冊	766 冊
		国 外	0 冊	0 冊	0 冊
	借	国 内	232 冊	417 冊	464 冊
		国 外	0 冊	0 冊	0 冊
文 献 複 写	学 内		2,707件 30,732枚	34,857件 209,517枚	33,888件 203,454枚
	学外	受 託	3,373件 26,616枚	1,861件 15,144枚	2,620件 20,575枚
		依 頼	4,131件 30,663枚	4,961件 34,948枚	3,690件 34,710枚
図 書 館 職 員 数	総 数		29 人	30 人	26 人
	定 員		19 人	20 人	18 人
	定 員 外		10 人	10 人	8 人
図 書 館 職 員 1 人 当 サ ー ビ ス 対 象 者 数	定 員		445 人	469 人	479 人
	定員外含む		292 人	282 人	332 人
図 書 館 資 料 購 入 費(千円)			180,757 千円	190,523 千円	202,925 千円

図書館関係会議

(平成13年4月～8月)

◎ 学内関係

- ・第1回富山大学年史編纂委員会

期日 平成13年6月6日

場所 附属図書館会議室

- ・第1回附属図書館運営委員会

期日 平成13年5月16日

場所 附属図書館会議室

- ・第2回附属図書館運営委員会

期日 平成13年7月25日

場所 附属図書館会議室

◎ 学外関係

- ・第52回北信越地区国立大学図書館協議会

期日 平成13年4月26日～27日

場所 K K R ホテル金沢

- ・国立大学附属図書館事務部課長会議

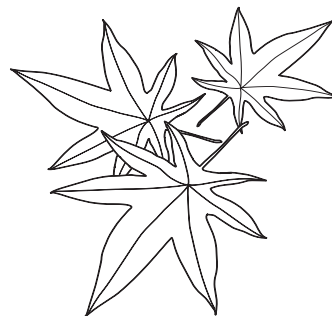
期日 平成13年5月29日

場所 東京医科歯科大学

- ・第48回国立大学附属図書館協議会総会

期日 平成13年6月27日～28日

場所 北海道大学学術交流会館



平成13年度附属図書館運営委員会委員名簿

(平成13年9月1日現在)

館長	小谷 伸男	工学部	袋谷 賢吉
人文学部	藤田 秀樹	工学部	石原 外美
人文学部	佐々木 重洋	教養教育実施機構	松崎 一平
教育学部	佐藤 幸男	総合情報処理センター	山西 潤一
教育学部	徳 槁 曜	事務部長	東 高明
経済学部	小松 和生	情報管理課長	星野 茂登一
経済学部	若林 丈靖	情報サービス課長	内山 昭一郎
理学部	鈴木 邦雄		
理学部	中村 省吾		